

海外におけるコーチング業界の動向がわかる
「コーチング・アカデミア」第14弾
“コーチングは単なる新しい流行語か？
それとも本当に有効なマネジメント手法か？” 発売！

日本におけるコーチングのパイオニアである（株）コーチ・トゥエンティワン（東京都千代田区、代表取締役社長 伊藤守）は、海外学術誌から抜粋したコーチングや人材育成に関する優秀な英文記事の日本語翻訳版「コーチング・アカデミア」の第14弾“コーチングは単なる新しい流行語か？それとも本当に有効なマネジメント手法か？”を、当社ウェブサイトのコーチング・ストアにて5月12日に発売開始します（全5ページ、価格：3,150円）。

今回発売する記事の概要は下記の通り。マネジメントへのコーチングの活かし方やコーチング手法の動向を知ることができるため、コーチングに直接携わっている方はもちろんのこと、組織においてマネジメントを行っている方にも役立つ内容となっています。

- 著者： リンダ・エドワーズ氏（The InSpire Partnership社 マネージング・ディレクター）
- 引用元：“Industrial and Commercial Training” 2003年 Volume35 No.7
- 内容： コーチングを受けた人や組織のパフォーマンスの変化を、実例とともに紹介。コーチングが組織全体に与える影響の大きさを明らかにし、コーチを選ぶ際にはコーチの質が重要な決め手となることを示唆している。

コーチング・アカデミアについて

マネジメントに特化した海外の学術系ジャーナルの中から、人材育成や組織改革、マネジメントに役立つ記事を厳選し、その翻訳版を提供するコーチングの領域においては日本で唯一のサービス。現在、コーチ・トゥエンティワンのコーチング・ストアでは、これまでに以下の13つの記事を提供しています。

- マネジャーは何をすべきか
- 人材開発戦略としてのメンタリングとコーチング～コカ・コーラ・フーズの取り組み
- 目標を達成する五つのステップ
- コーチング-根拠なき熱狂か、新しいパラダイムか
- エグゼクティブ・コーチングにおける心理学的アプローチの基盤
- コーチング、文化、リーダーシップについて～Philippe Rosinskiに聞く
- 成果管理におけるエグゼクティブ・コーチングの役割
- 新たな産業に向けてのビジネス・コーチングの課題
- コーポレート・コーチングの動向
- 企業における「異動マネジメント」の効果
- メンタリング、カウンセリング、コーチングに関する議論
- 職場におけるコーチングとコーチ・トレーニング
- コーチングの導入における障害の克服とマネージャーの役割

これらの記事は、実際にコーチングを行っているコーチだけでなく、企業の経営者や管理職、人事部のご担当者など幅広い方々に有効活用されています。

サービス内容

【開始時期】 2006年5月12日

【内容】 “コーチングは単なる新しい流行語か？それとも本当に有効なマネジメント手法か？”

【価格】 3,150円（消費税含む）

【申し込み方法】 ウェブサイトのコーチング・ストアから（http://aaa.coach.co.jp/products/list_academia.php）

上記の件に関するお問い合わせは

株式会社 コーチ・トゥエンティワン 広報担当：林ノ大谷

TEL: 03-3237-9781 FAX: 03-5275-0737 E-Mail: hayashi@coach.co.jp
ohtani@coach.co.jp

ウェブサイト: <http://www.coach.co.jp>

メールマガジンのお申込みはこちらから: <https://www.coach.co.jp/ezine/index.htm>

あなたをいろいろな角度から診断するテストサイト: <http://www.test.ne.jp>

以 上